

楽しんでラウンドしよう！

これだけは押さえておきたい



ゴルフ マナー&ルールガイド



2023 年度 財務・規則・渉外委員会

1. 解説

ゴルフはイギリス発祥のスポーツ。日本のゴルフ場もイギリスのゴルフ場の運営方法に習って、メンバーシップを取っているコースが多くあります。

メンバーが資金を持ち寄りクラブの運営をしているゴルフ場ですが、一部のゴルフ場ではメンバー以外の方(ビジター)にコースを開放しています。

そのため、メンバーが大切にしているそのゴルフ場の風土を汚すことがマナー違反とされるわけです。青年経済人として、常日頃から周りから見られていると考えたら最低限のマナーを知る必要があります。

2. ゴルフ場の服装

紳士のスポーツのため来場からプレー終了まで服装に注意してください。

おしゃれとマナーは異なります。

○行くとき、帰るとき（呉羽カントリーのドレスコード）

- ・上着（ブレザー、ジャケット、スーツ類）を着用。
- ・ゴルフシューズのままで来場は、コース内芝地を傷める油類や雑草種子等の侵入につながりますのでお止め下さい。
- ・ジャンパー・Ｔシャツ・ジーンズ・ジャージ・サンダル・ツッカケなどでの来場はご遠慮ください。

○プレー中

- ・襟付きのスポーツシャツまたハイネックシャツの着用をお願いいたします。
- ・ハイテク素材のアンダーシャツは襟付き半袖シャツを上に着用願います。
- ・シャツの裾はズボンまたはスカートの中に収め、外に出さないようお願いいたします。
- ・女性用オーバーブラウス仕立てのものは例外的に認めます。
- ・タンクトップ、キャミソール、襟のないシャツ、超ミニスカート、ホットパンツ、ジーンズ、カーゴパンツ、迷彩柄ズボンでのプレーはお断りします。
- ・半ズボン着用時は、ハイソックスか踝（くるぶし）の隠れるスポーツソックスを推奨します。（アングルソックスはご遠慮ください。）
- ・事故防止と暑さ避けのためヒサシのある帽子を着用下さい。
- ・タオルを首や肩にかけたり、腰に下げたりしないでください。
- ・グリーン保護のためソフトスパイクシューズを推奨します。
- ・プレー中の携帯電話の使用は遠慮願います。



3. 気になるマナー

1) ティーイングエリア (旧称：ティーグラウンド)

(ゴルフ場で、各ホールの出発区域で第1打を打つために整地されているところ)

- スタート時間は、カートの出発時間ではなく、
ティーイングエリアでいつでも打てる体制が取れている時間。
スタート時間の10分前にはスタートホールにいるようにする。
- ボールの行方は全員で見て、ボール探しは全員ですること。
- O.B.の可能性があれば、必ず暫定球を打っておく。
- ティーショットを打ち終わったらクラブを持って速やかにカートに乗り出発



2) プレイヤーへの配慮 【ティーイングエリア】

- ティーショットを打つ人以外はティーイングエリアに上がらない。打つ人の後方線上に立ってはいけない
- プレイヤーがアドレスに入ったら余計な音を出さない。
しゃべらない、動かない。



3) 他組への配慮 【ティーイングエリア】

- 前後の組に聞こえるような大声での会話はしない、特にショットの前後は話さない。
- 前の組がプレーしているのであれば、素振りをするのはやめるべき。

4) フェアウェイ

(コースの一要素であり、短く刈り込まれた芝で構成されており、ここからは打

ちやすい。また、ボールが落ちた場合、よく弾み、よく転がる性質がある。
また、フェアウェイを外れ、芝が長い所をラフという)

- ・ショット時は慎重でも問題はない。

クラブの準備、アドレス、素振りなどは時間をかけない。

- ・進行を遅らす行為となるため、初心者の場合は、2、3、4打はクラブを1本ではなく、数本持ってボールの位置に行く。

※カップに近づくとウェッジとパターを持ち歩く

- ・フェアウェイは、だらだら歩かない

・全員でそれぞれが次打点に移動し、基本的にはカップから遠い順番に打つが、声を掛け合い準備ができた人から打つ。

5) 他組への配慮 【フェアウェイ】

- ・隣のホールに打ち込んだときは「ファー」と掛け声をかけ、危険を知らせる。
- ・隣のホールに打ち込んだボールを打つ場合は、挨拶をしてから打ち込んだホールのプレイヤーが打ち終わってから自分のボールを打つ。

6) グリーン

(フェアウェイよりもきめ細かに整えられた芝で構成されており、この区域内にカップが設けられている)

- ・パットの順番が来たら歩測、ライン読みを始める人が多いが
自分の番が来る前に他人の邪魔にならないように準備しておく。
- ・スムーズな進行になるように、スコアの記入はカートでホールアウト後のクラブ収納は、次ホールのティーイングエリアで行う。
- ・グリーン上では走らない。
- ・グリーンを大切に、ボールマークは各自で直しましょう、スパイクの傷はつけないように

7) 同伴者への配慮 【グリーン】

- ・人がパットをするときに、視界に入るところや後方線上、ライン上に立たない
- ・自分の影が他のプレイヤーのライン上にかからないようにする



8) ペナルティエリア(旧称・ウォーターハザード)、バンカー

ペナルティエリアは、赤杭または黄杭で区切られたエリア

- ・バンカーではボールを打つ前にソールが砂に触れてしまうとプレイヤーは2打罰のペナルティ



- ・2 打罰でバンカーの外にドロップできる。ホールとボールを結んだ延長線を基準線として、そこから 1 クラブレンジス以内にドロップできる。

- ・地面に食い込んだボールはジェネラルエリア(ティーイングエリア、バンカー、グリーン、ペナルティエリア、OB を除いたエリア)であれば無罰で救済できる

9) 怪我防止のための配慮

- ・同伴競技者が打つときは打球が飛んでくる可能性があるので打者より前に出ない。
- ・前の組への打ち込みは絶対にやらない
- ・前の組すべての人がグリーンを出るまで打たない

10) その他

- ・一人一人が迅速に行動することが、スロープレーを解消する。
- ・前後の組に気を遣い、初心者はなるべく走る。
- ・周りの状況を判断しプレーを進行する。
- ・携帯は使用しない。
- ・修理地やサブグリーンには必要以上に入らない。



2019 年ゴルフ新ルール

公益財団法人 日本ゴルフ協会

2019 年からゴルフ規則が大幅に変更

<プレーがスムーズ！>

1. ドロップの高さが低くなり、再ドロップの可能性が激減。
2. 旗竿を立てたままでパット、カップインが認められる。
3. バンカー、ペナルティーエリアで小石や枯れ枝を取り除いていい。
4. 同伴競技者の立ち合い不要でボールの確認、交換ができる。
5. “遠球先打” にこだわらず、準備できたプレーヤーから打てる。
6. 泥の付いたボールの確認時、同伴競技者を呼ばなくてよかった。



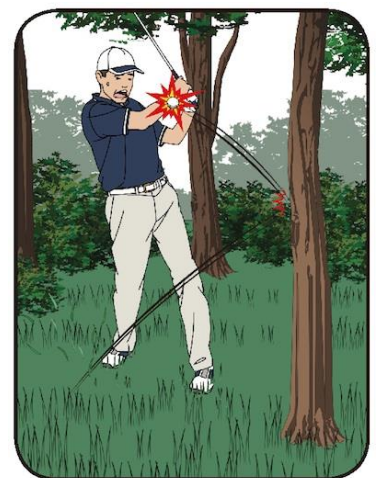
<初心者優しい！>

1. バンカー内で 2 罰打を払えば、ホールとボールを結んだ延長線を基準線として、そこから 1 クラブレンジス以内にドロップできる。
2. チョロしてもティーイングエリア内なら無罰で再ティアップできる。
3. かすって落ちたボールは、ティーイングエリア内なら再ティアップが可能（2と重複のため削除）
3. コンペなどで、各ホールの最大スコア（上限）を決めることができる。

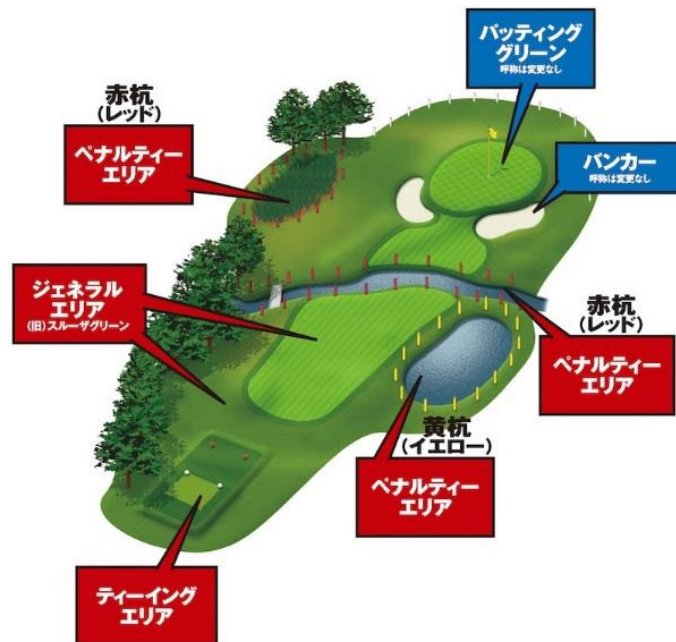


<不要な罰打が減った！>

1. 打球が自分やキャディ、カートに当たっても無罰でプレー続行に
2. ボール探しでうっかり自分のボールを蹴飛ばしても、無罰でリプレー
3. グリーン上でうっかりボールを動かしても無罰でリプレー
4. ペナルティーエリア（赤杭、黄杭）内でソールしても無罰に
5. 「2度打ち」でも無罰、1 ストロークに
6. 林の中で打ったボールが木にはね返り自分に当たっても無罰になった



<コースの呼び名が変わった！>



1. ティーイングエリア

旧ティーインググラウンド。ティーマーカーを結んだラインの2クラブレンジス後方までのエリアのみ示し、それ以外はジェネラルエリアとなる。

2. ジェネラルエリア

旧スルーザグリーン。ティーイングエリア、バンカー、グリーン、ペナルティエリア、OBを除いたエリア。

打球が埋ったら、どこでも無罰で救済を受けられる。

(この四角の中だけ)



3. ペナルティーエリア

旧ウォーターハザードと、新たにブッシュなどプレーが困難な場所を赤杭、黄杭で囲んだエリア。救済処置は、黄杭は以前と同じ。赤杭はラテラル処置と呼ばれ、対岸エリアの処置がなくなった。

4. バンカー (呼称変更なし)

バンカーの呼称は変わらないが、ペナルティーエリアとの区別が明確に。ソールできないのは以前のままだが、ルースインペディメントは取り除けるようになった。

5. パッティンググリーン

パッティンググリーンも呼称は変わらず。救済ではドロップの処置はなく、プレースかリプレースで処置する。

<その他>

1. ドロップは膝の高さから

以前の「2 クラブレングス以上転がったら再ドロップ」という条件はなくなり、救済エリアから外れた場合のみ再ドロップとなる。

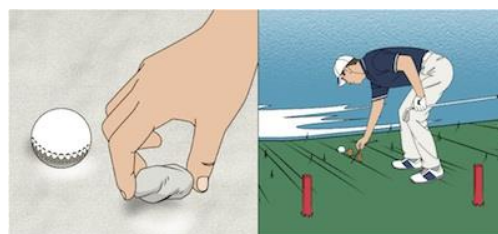
旧ルールのやり方でドロップした場合でも無罰でやり直せる。しかし、そのままストロークしてしまうと 1 罰打となる。



2. ボールを探せる時間が5分→3分に変更



3. バンカーとペナルティーエリア内でのルースインペディメント（小石、枯れ枝などの自然物）の除去が可能になった。



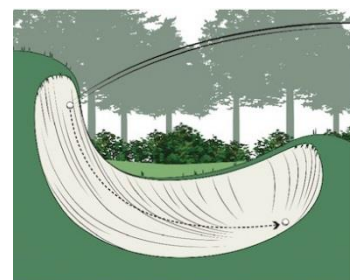
4. 旗竿（ピン）を立てたままパットができる



5. 「お先に」でタップインする際、間口を広げようと旗竿を手で押さえたりすると2 罰打。先に抜いて、片手に持ったまま打つのは問題ない。



6. バンカーから2 打罰でホールとボールを結んだ延長線を基準線として、そこから1 クラブレンジス以内にドロップできる。



7. 1 ストロークで2 回以上クラブが当たる「2 度打ち」は、以前 は1 罰打加算だったが、新ルールでは無罰になった。また、林の中で打球が木に跳ね返って自分に当たるなどの自打球も、1 罰打から無罰になった。

